

平成27年度 第3回 環境循環系セミナー

演題: Monitoring and risk assessment of polycyclic aromatic hydrocarbons in the air

(大気中の多環芳香族炭化水素のモニタリングおよびリスクアセスメント)

講演内容: 大気中の多環芳香族炭化水素(PAHs)は人体への健康影響および植物影響を有する汚染物質であり、化石燃料の燃焼等により生成する。本研究では、和歌山県の上芳養および日置、広島県の東広島の3地点において大気中の粒子態PAHs濃度を数年間測定し、PAHsの人体および植物への影響について評価、考察した。その結果、上芳養および日置においては、近傍の火力発電所の排煙の影響を強く受けていることが流跡線解析により示唆された。また、特に上芳養においては、冬季にアジア大陸から遠距離輸送される頻度が高くなることが示された。一方、東広島においては局所的な汚染の影響は顕著ではなく、アジア大陸からの遠距離輸送による汚染の影響を強く受けていることが示唆された。これらの観測結果から、大気中PAHsの人体および植物への影響について文献等をもとに考察を行った。本セミナーは、学位論文公開発表会を兼ねています。

講演者: Waqar Azeem JADOON (生物圏科学研究科環境循環系制御学専攻博士課程後期)

日時: 2015年7月29日(水)午後4時半—5時半

場所: 総合科学部J206号室

* 本セミナーは、生物圏科学研究科共同セミナーになります。

世話人 佐久川弘(内線6504)